

摺絵

4月15日号にてご紹介した御深井釉製品には、花型の印を押す「印花」や植物などを形作った粘土を貼り付ける「貼付」といった装飾が施されていましたが、17世紀中期以降になると、「摺絵」と呼ばれる技法で文様を施す製品が見られるようになります。

摺絵とは、絵柄を彫った型紙を器面に当てて文様を施す技法です。同じ文様を施す手間が省け、皿や向付などの量産に効果を発揮しました。

摺絵が導入された初期の段階では、器面を広く使い、文様のにじみがなくシャープなものが多いですが、次第に文様が小さくなり、にじみも見られるようになります。また、文様の絵柄自体も単純になっていきます。

摺絵に用いられる顔料は、当初は白泥が使用されていましたが、その後、鬼板(褐鉄鉱の一種)に替わっていきます。白泥の摺絵は、17世紀の肥前においても見られ、韓国象嵌青磁などの影響を受けたと考えられています。摺絵は幕末にかけていったん生産が途絶えますが、明治時代に入り磁器が量産化されてくると再び登場します。



御深井釉摺絵水注



御深井釉摺絵皿

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎ 05711



文化プラザ

第25回 ブラスの集い

毎年恒例のブラスの集いも今回で25回目を迎えます。3年生合同バンドと2年生合同バンドによる演奏も見どころです。3年生は「じゅげむ」、「美女と野獣メドレー」を、2年生は「そよ風のマーチ」、「スタジオジブリ名曲集」を演奏します。生徒たちが企画・運営するコンサートです。ブラスに対する情熱・愛情をぜひホールにてご体感ください。

日時 10月3日(土)

午後1時開演

場所 サンホール

入場料 無料



- 【出演校】 土岐津中学校
西陵中学校
駄知中学校
泉中学校
土岐商業高等学校
土岐紅陵高等学校

